

南小図書館だより

令和7年5月16日

有明南小学校

図書館

さわやかな空気と新緑がきれいな5月です。南小学校は、校歌にあるように、森に囲まれていて緑がとてもきれいですね。登校後、図書館で本を借りて、それから運動場へ向かう子どもたちがたくさんいます。朝のルーティーンに図書館が入っていることを、とてもうれしく感じています。それから今年度、1・2・3年生に日替わりで読み聞かせをしています。ただ文字を読むだけではなく、本の楽しみ方はいろいろあることを伝えようと始めました。子どもたちのキラキラ輝くまなざしとパワーをお返しにいただいています。教室に行くのがとても楽しみです。

♪ 新しい本のしょうかい ♪

【青少年読書感想文 課題図書】

1・2ねんせい

『ライオンのかにのネズミ』

『ぼくのかねこ ポー』…拾った子ねこをかうことにしたけれど、じつはそのねこはノラねこではなくて、おともだちのねこだった。返さないといけなけれど、返したくない。もやもやした気持ちは、どうしたらおさまるの？

『ともだち』…2人でいるとうまくいっていたのに、3人になったとたん、とげとげした気持ちがむくむくとわいてきて…3人でなかよくする方法はあるのかな？

『ワレワレはアマガエル』

3・4年生

『ふみきりペンギン』

『バラクラバ・ボーイ』…バラクラバは顔をすっぽりかくすぼうしのこと。どうしてだろう、転校生はいつもこのぼうしをかぶっている。最後まで読むと、ぼうしのなぞがとけて、おどろきとスッキリが同時に味わえる。

おすすめの本に、しょうかいばんを
つけています。よんでみましょう。

『たった2℃で…地球の気温上昇がもたらす環境災害』

…地球環境について、わかりやすくまとめられている。大きくてわかりにくいけれど、地球は1つ、みんなつながっていることに気づかされる。SDGsの学習にも使えて、1番のオススメです！

『ねえねえ、なに見てる？』…同じ景色を見ている、見ているものや見え方は、みんな同じではなく、人それぞれちがいます。そのことがとてもわかりやすく描かれていて、保護者の方にも、ぜひ読んでいただきたい内容です。

5・6年生

『ぼくの色、見つけた！』

『森に帰らなかったカラス』

『マナティーがいた夏』…やりたいことと、やらなければいけないことがあって、友だちとの友情も大切にしたい — 思春期に入る高学年のみなさんに読んでほしい1さつ。

『とびたて！みんなのドラゴン…難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険』

…ここを一つにするって、こんなことだったんだ！みんなと協力することの大切さを感じられる感動のものがたり。読んだ後は、すがすがしい気持ちになります。

【国語の教科書にしょうかいされている本】

『月夜とめがね』 『飛ぶ教室』 『ほんとうの空色』 『危機の現場に立つ』

『なぜ戦争はよくないか』 『なぜ僕らは働くのか…君が幸せになるために考えてほしい大切なこと』 『登り続ける、ということ。…山を登る 学校を建てる 災害とたたかう』 『「はやぶさ2」のはるかな旅…史上初の挑戦とチームワーク』

『世界でいちばん優しいロボット』 『森の物語』 『ぼく、カギをのんじやった！』

『自由研究 ようこそ！ ことばの実験室コトラボへ』

『レイチェル・カーソン <沈黙の春>で地球の叫びを伝えた科学者』

うらへ